

数学 東北大学 文学部・教育学部・法学部・経済学部（文系）・医学部（保健・看護）

<全体分析>

試験時間	100 分	解答問題数	4 題
------	-------	-------	-----

解答形式
記述式

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）
難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・**難化**）

出題の特徴や昨年との変更点

出題範囲内から万遍なく出題される。
例年に比べて文章量の多い問題が目立つ。また、小問も多く設置されている。

その他トピックス

1は理系学部**1**と共通の問題。**3**は理系学部**2**と共通の問題。
「場合の数・確率」からの問題が無かった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	微分・積分	数Ⅱ	線分と放物線で囲まれた領域の面積を求める。	標準
2	三角関数 図形の性質	数Ⅱ 数A	(2) 与えられた図形の性質を満たす座標軸上の点の座標を求める。 (3)(4) 方べきの定理を証明し、これを用いて線分の長さの積を求める。	標準
3	対数関数	数Ⅱ	(1) 整式と対数関数についての不等式を証明する。 (2) 整式と対数関数からなる不等式を満たす自然数をすべて求める。	やや難
4	数列 整数	数B 数A	(1)～(3) 無理数の累乗に関わる数列について計算や証明を行う。 (4) 一次不定方程式を解く。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書で基礎・典型の内容をしっかりと固め、その上で、標準レベルを中心として演習を重ねていきたい。

東北大の入試では、文字が多かったり量が多かったりする計算も要求される。計算量や分析量の多い問題にも積極的に取り組み、最後の正解のところまでしっかりやりきることを意識して取り組みたい。そういった粘りが合否を左右する。